

# 第5回これからの災害支援を考える北海道フォーラム

## 参加者募集中

災害時に発生する多様な被災ニーズへの対応には企業・専門士業、NPO等による多様な民間支援が不可欠です。

本事業は民間による被災者支援のネットワーク化と行政や災害ボランティアセンターとの連携強化を目的に2020年度より継続して開催しています。

本年度は、令和6年能登半島地震を踏まえ、官民連携による新たな被災者支援について考えます。

北海道における

官民連携・多様な主体による  
被災者支援

10/28月

10:00-16:30

札幌市中央区 かでの2.7  
+ on-line参加もOK

[申込期日:10/23\*]

参加費 1,000円

※ on-lineは午前のプログラム限定です

参加  
対象

- ✓ 災害時の支援活動に関心のある方
- ✓ 行政・社会福祉協議会職員
- ✓ 企業・労働組合等に所属する方
- ✓ NPO・協同組合等に所属する方

北海道の災害中間支援組織

きたサポ

北の国災害サポートチーム

✉ info@kitasapo.net

☎ 011-200-0973

🏠 https://kitasapo.net

📍 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74  
市民活動プラザ星園201号室  
北海道NPOサポートセンター内

本事業は、「くろうきん」働く人と子どもの明日(あした)を応援プロジェクト2024」の採択を受けて開催します。



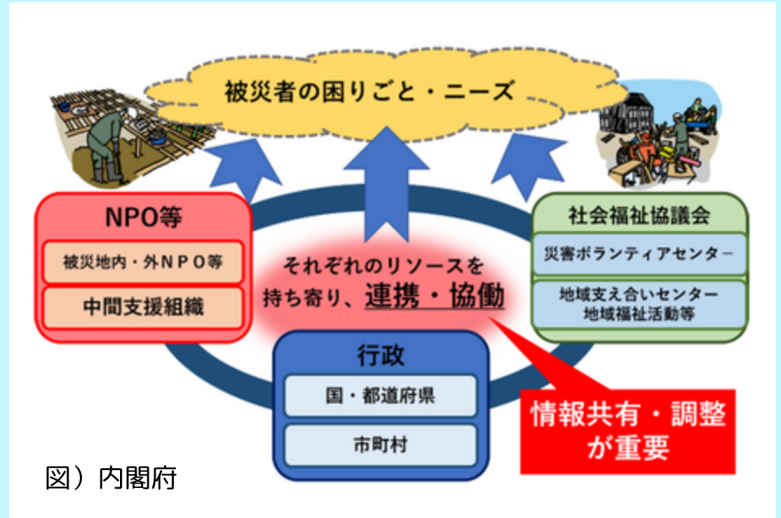
くろうきん

共催：北の国災害サポートチーム、北海道災害復興支援基金（運営：認定NPO法人北海道NPOファンド）

後援（予定）：北海道、札幌市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）、協同組合ネット北海道

# 開催の目的

- 災害発生時には、公的機関が担う法制度に基づく支援や災害ボランティアセンターが担う生活環境を改善する支援、企業やNPOなどの特色や専門性を発揮した支援が必要とされるなか、これらを有機的に組み合わせた多様な支援の構築が求められています。(下図参照)
- 北海道では平成30年胆振東部地震支援以前から多様な主体間の連携による被災者支援活動が展開され、2019年には災害中間支援組織(NPO・ボランティア等の活動支援や活動調整を行う組織)である北の国災害サポートチームが組成され、北海道庁及び北海道災害ボランティアセンター(北海道社会福祉協議会)と定期的な調整が図られています。
- 本年1月に修正された北海道地域防災計画にも災害中間支援組織を含むNPO・ボランティア等の多様な支援主体との連携による被災者支援の重要性が盛り込まれ、今後は市町村の地域防災計画にも反映されることが予想されます。
- 北海道における災害中間支援組織の発足から5年を迎え、これまでの官民連携の歩みを振り返るとともに、今後発生する災害での円滑な支援体制の構築を目指すため本フォーラムを開催します。



# プログラム(予定)

10:00- 開会、趣旨説明

10:30- クロストーク

令和6年能登半島地震から考える北海道におけるこれからの被災者支援の視点 ～官民協働による被災者支援～  
トーカー

北海道総務部危機対策局危機対策課

北海道社会福祉協議会・北海道災害ボランティアセンター

北の国災害サポートチーム

北海道NPOファンド

12:00- 休憩

13:00- ワークショップ

つながりは備え！次の災害に備えた被災者支援の学び  
事例提供

石狩思いやりの心届け隊

北海道内市町村社協職員

進行

北の国災害サポートチーム

コメンテーター

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

15:00- 休憩

15:15- クロージング

被災者支援のこれから

16:30- 終了(任意参加プログラム、名刺交換会)

18:00- 情報交換会(任意参加・事前申込制)

- 当団体の構成団体は、令和6年能登半島地震の支援活動を展開しています。
- 当日は支援の様子もお伝えします。



# この日の出会いが備えになる